

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和5年度）
研究開発課題名	非天然 α -アミノ酸を用いた中分子ペプチド医薬品創成
代表機関名	国立大学法人九州大学
研究開発代表者名	矢崎 亮

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、立体障害の大きい非天然型 α アミノ酸含有ペプチドのPPI阻害医薬品創成を目指し、複数の領域で、非天然アミノ酸が細胞内PPIを標的とした治療薬として有用であることを確認しており展開可能性が期待できる。さらに、合成方法やin silico解析などの今後の発展に向けた基盤技術が複数構築できており評価できる。また、非天然アミノ酸を用いることで細胞膜透過性だけでなく、代謝安定性も向上させることを確認するなど、優れた成果をあげてきている。

今後、非天然 α -アミノ酸を用いるメリットを病態モデルで実証し、企業との共同研究につながることを期待する。

以上